

## 「大学生の実態調査2016」 —大学生の将来イメージ編—

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳川 昌紀）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：岡崎 仁美）は、大学生の生活・価値観の実態を明らかにするため、大学1年生～4年生を対象に調査を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

### 【将来の明るさ】

- 社会人になるころの社会の明るさは、「明るい」「やや明るい」の合計（以下「明るい・計」）は26.9%で、「明るくない」「あまり明るくない」の合計（以下「明るくない・計」）31.5%と、「明るくない・計」の方が高い。  
前回2012年調査（以下「前回調査」）の「明るい・計」16.7%、「明るくない・計」46.8%と比べると、「明るい・計」が10.2ポイント高くなり、「明るくない・計」は15.3ポイント低くなった。  
学年別で「明るい・計」を見ると、大学4年生は33.5%だが、大学1～3年生では24～25%くらいと、大学生4年生の方が高い。
- 自分自身の将来の明るさは、「明るい・計」は41.7%で、「明るくない・計」の23.8%に比べて17.9ポイント高い。  
前回調査の「明るい・計」36.1%、「明るくない・計」27.9%と比べると、「明るい・計」が5.6ポイント高くなり、「明るくない・計」は4.2ポイント低くなった。  
学年別で「明るい・計」を見ると、大学4年生は50.6%だが、大学1～3年生では37～41%と、大学4年生の方が高い。
- 社会人になるころの社会と、自分自身の将来の明るさとの関係を見ると、社会と自分の両方が「明るい・計」は86.6%である一方、両方「明るくない・計」は59.9%であった。

### 【大学卒業後の進路について考えるときの気持ち】

- 大学卒業後の進路について考えるときの気持ちについて、「楽しい」「どちらかという楽しい」の合計（以下「楽しい・計」）は24.2%で、「不安」「どちらかという不安」の合計57.1%と、「不安・計」の方が高い。  
前回調査の「楽しい・計」23.5%、「不安・計」58.3%と比べると、ほぼ同水準である。
- 「楽しい・計」と思う理由は、「新しいことをたくさん経験できそうだから」71.2%、「たくさんの人との出会いが待っていそうだから」53.2%、「仕事を通して学べるが多そうだから」53.1%であった。一方、「不安・計」の理由は、「仕事に就くことができるかどうか（就職できるか）心配だから」72.3%、「社会人になる自信がないから」49.5%、「社会での人間関係が難しそうだから」48.0%であった。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ宛

Mail: kouho@waku-2.com

## 【目次】

調査概要／回答者属性	2
I. 将来の明るさ	3～5
1) 社会人になるころの社会の明るさ	3
2) 自分自身の将来の明るさ	4
3) 社会人になるころの社会の明るさと自分自身の将来の明るさ	5
II. 将来の進路について考えるときの気持ち	6～8
1) 大学卒業後の進路について考えるときの気持ち	6
2) 大学卒業後の進路について考えるときの気持ち：「楽しい」と思う理由	7
3) 大学卒業後の進路について考えるときの気持ち：「不安」と思う理由	8

## 【調査概要】

- 調査目的 : 大学生の生活実態や価値観、将来のイメージなどを明らかにする。
- 調査期間 : 2015年12月11日～12月20日
- 調査方法 : インターネット調査（調査協力：株式会社電通マクロミルインサイト）
- 調査対象 : 株式会社マクロミルのモニター会員のうち、2015年12月時点の大学生1年生から4年生を調査対象とした。回収数は、学年・男女比が均等（各学年・男女500人）となるように設定した。
- 有効回答数 : 4,000人

## 【回答者属性】

## ■ 学年・男女(全体／単一回答)

上段:回答数(人)  
下段:全体に占める割合(%)

		全体	大学1年	大学2年	大学3年	大学4年
全体		4000 (100.0)	1000 (25.0)	1000 (25.0)	1000 (25.0)	1000 (25.0)
性別	男性	2000 (50.0)	500 (12.5)	500 (12.5)	500 (12.5)	500 (12.5)
	女性	2000 (50.0)	500 (12.5)	500 (12.5)	500 (12.5)	500 (12.5)

## ■ 文理系統(文系・理系学部系統選択者のみ／単一回答)

(%)

		凡例 N	文系	理系
全体		(3712)	60.9	39.1
性別	男性	(1904)	54.5	45.5
	女性	(1808)	67.6	32.4

## ■ 大学所在地(47都道府県選択者のみ／単一回答)

(%)

	全体	関東	中部	近畿	その他地域計
全体	3997	38.9	13.6	21.8	25.8

≪地域区分の内訳（以降のページも同様）≫

関東＝茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県  
 中部＝新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県  
 近畿＝三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県  
 その他地域・計＝「関東」「中部」「近畿」以外 ※「海外」を除く

≪調査結果を見る際の注意点≫

※ %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある。

※ 図表の一部で、今回調査と前回調査（2012年11月実施）のポイント差をカッコ内に記載した。

例：14.2%（-6.7）の場合、前回調査より6.7ポイント減少。

1) 社会人になるころの社会の明るさ

- 社会人になるころの社会の明るさは、「明るい」「やや明るい」の合計（以下「明るい・計」）は26.9%で、「明るくない」「あまり明るくない」の合計（以下「明るくない・計」）31.5%と、「明るくない・計」の方が高い。
- 前回2012年調査（以下「前回調査」）の「明るい・計」16.7%、「明るくない・計」46.8%と比べると、「明るい・計」が10.2ポイント高くなり、「明るくない・計」は15.3ポイント低くなった。
- 学年別で「明るい・計」を見ると、大学4年生は33.5%だが、大学1～3年生では24～25%くらいと、大学生4年生の方が高い。

■将来の明るさ: 社会人になるころの社会の明るさ（全体／単一回答）

※質問回答の「明るい」「やや明るい」をあわせて「明るい・計」、「明るくない」「あまり明るくない」をあわせて「明るくない・計」とした。

	凡例 N	明るい・計			どちらとも いえない	明るくない・計		明るい ・計	明るくない ・計
		明るい	やや明るい			あまり明るくない	明るくない		
全体	(4000)	5.5	21.4	41.6		22.8	8.7	26.9	31.5
性別	男性 (2000)	7.0	21.8	42.1		20.1	9.1	28.8	29.2
	女性 (2000)	4.1	21.0	41.1		25.5	8.4	25.0	33.9
学年	大学1年生 (1000)	4.7	20.6	41.7		23.2	9.8	25.3	33.0
	大学2年生 (1000)	5.0	19.2	42.4		24.0	9.4	24.2	33.4
	大学3年生 (1000)	4.6	20.0	41.8		24.2	9.4	24.6	33.6
	大学4年生 (1000)	7.8	25.7	40.4		19.8	6.3	33.5	26.1
文理別	文系 (2259)	6.3	21.9	38.6		24.1	9.1	28.2	33.2
	理系 (1453)	4.3	21.1	45.9		20.9	7.7	25.5	28.6
大学 所在地別	関東 (1554)	5.9	22.8	40.8		22.1	8.3	28.8	30.4
	中部 (543)	5.5	19.0	43.3		25.0	7.2	24.5	32.2
	近畿 (870)	5.3	18.7	43.1		24.0	8.9	24.0	32.9
	その他地域・計 (1030)	5.0	22.7	40.6		21.7	10.0	27.8	31.7

+5 全体値+5ポイント以上高い数値に文字白抜き青色網掛け  
-5 全体値-5ポイント以上低い数値に桃色網掛け

■前回(2012年)調査結果との比較

	N=今回	N=前回	明るい・計			どちらとも いえない	明るくない・計		明るい ・計	明るくない ・計
			明るい	やや明るい			あまり 明るくない	明るくない		
全体	(4000)	(4120)	5.5 (1.5)	21.4 (8.6)	41.6 (5.1)		22.8 (-10.4)	8.7 (-4.9)	26.9 (10.2)	31.5 (-15.3)
性別	男性 (2000)	(2060)	7.0 (3.1)	21.8 (9.1)	42.1 (6.2)		20.1 (-12.3)	9.1 (-6.1)	28.8 (12.1)	29.2 (-18.4)
	女性 (2000)	(2060)	4.1 (0.0)	21.0 (8.2)	41.1 (4.1)		25.5 (-8.4)	8.4 (-3.8)	25.0 (8.2)	33.9 (-12.2)
学年	大学1年生 (1000)	(1030)	4.7 (1.6)	20.6 (8.9)	41.7 (3.7)		23.2 (-9.6)	9.8 (-4.7)	25.3 (10.5)	33.0 (-14.3)
	大学2年生 (1000)	(1030)	5.0 (2.1)	19.2 (7.3)	42.4 (6.4)		24.0 (-12.3)	9.4 (-3.4)	24.2 (9.3)	33.4 (-15.7)
	大学3年生 (1000)	(1030)	4.6 (0.5)	20.0 (8.5)	41.8 (4.4)		24.2 (-8.5)	9.4 (-5.0)	24.6 (9.1)	33.6 (-13.5)
	大学4年生 (1000)	(1030)	7.8 (2.0)	25.7 (9.7)	40.4 (5.9)		19.8 (-11.0)	6.3 (-6.6)	33.5 (11.7)	26.1 (-17.6)
文理別	文系 (2259)	(2190)	6.3 (2.0)	21.9 (8.7)	38.6 (3.7)		24.1 (-8.5)	9.1 (-5.8)	28.2 (10.7)	33.2 (-14.4)
	理系 (1453)	(1571)	4.3 (0.9)	21.1 (9.2)	45.9 (7.6)		20.9 (-13.2)	7.7 (-4.6)	25.5 (10.2)	28.6 (-17.8)
大学 所在地別	関東 (1554)	(1726)	5.9 (2.5)	22.8 (10.7)	40.8 (3.4)		22.1 (-10.7)	8.3 (-6.0)	28.8 (13.3)	30.4 (-16.7)
	中部 (543)	(488)	5.5 (0.6)	19.0 (5.7)	43.3 (8.5)		25.0 (-9.8)	7.2 (-4.9)	24.5 (6.3)	32.2 (-14.7)
	近畿 (870)	(878)	5.3 (1.0)	18.7 (5.9)	43.1 (7.8)		24.0 (-9.9)	8.9 (-4.8)	24.0 (6.9)	32.9 (-14.7)
	その他地域・計 (1030)	(1018)	5.0 (1.0)	22.7 (9.2)	40.6 (3.9)		21.7 (-10.7)	10.0 (-3.4)	27.8 (10.3)	31.7 (-14.1)

+5 全体値+5ポイント以上高い数値に文字白抜き青色網掛け  
-5 全体値-5ポイント以上低い数値に桃色網掛け

2) 自分自身の将来の明るさ

- 自分自身の将来の明るさは、「明るい・計」は41.7%で、「明るくない・計」の23.8%に比べて17.9ポイント高い。
- 前回調査の「明るい・計」36.1%、「明るくない・計」27.9%と比べると、「明るい・計」が5.6ポイント高くなり、「明るくない・計」は4.2ポイント低くなった。
- 学年別で「明るい・計」を見ると、大学4年生は50.6%だが、大学1～3年生では37～41%と、大学4年生の方が高い。

■将来の明るさ: 自分自身の将来の明るさ (全体/単一回答)

※質問回答の「明るい」「やや明るい」をあわせて「明るい・計」、「明るくない」「あまり明るくない」をあわせて「明るくない・計」とした。

●凡例 N	明るい・計		どちらとも いえない	明るくない・計		明るい ・計	明るくない ・計	
	明るい	やや明るい		あまり明るくない	明るくない			
全体 (4000)	10.7	31.0	34.6	16.7	7.1	41.7	23.8	
性別	男性 (2000)	11.4	28.6	36.4	16.2	7.6	40.0	23.7
	女性 (2000)	10.1	33.3	32.8	17.2	6.7	43.4	23.8
学年	大学1年生 (1000)	9.2	31.8	35.1	16.6	7.3	41.0	23.9
	大学2年生 (1000)	9.7	27.6	37.9	17.8	7.0	37.3	24.8
	大学3年生 (1000)	9.5	28.3	35.1	18.9	8.2	37.8	27.1
	大学4年生 (1000)	14.5	36.1	30.2	13.3	5.9	50.6	19.2
文理別	文系 (2259)	12.3	27.9	33.9	18.2	7.7	40.2	25.9
	理系 (1453)	8.7	35.2	35.0	14.9	6.1	44.0	21.1
大学 所在地別	関東 (1554)	10.7	30.8	35.3	16.2	7.1	41.5	23.2
	中部 (543)	10.9	28.2	37.0	17.9	6.1	39.0	23.9
	近畿 (870)	10.3	30.9	34.5	17.4	6.9	41.3	24.3
	その他地域・計 (1030)	10.9	32.7	32.3	16.2	7.9	43.6	24.1

+5 全体値+5ポイント以上高い数値に文字白抜き青色網掛け  
-5 全体値-5ポイント以上低い数値に桃色網掛け

■前回(2012年)調査結果との比較

N=今回	N=前回	明るい・計			明るくない・計			明るい ・計	明るくない ・計
		明るい	やや明るい	どちらとも いえない	あまり 明るくない	明るくない			
全体 (4000)	(4120)	10.7 (0.2)	31.0 (5.5)	34.6 (-1.5)	16.7 (-1.9)	7.1 (-2.3)	41.7 (5.6)	23.8 (-4.2)	
性別	男性 (2000)	(2060)	11.4 (0.9)	28.6 (6.2)	36.4 (-1.2)	16.2 (-2.8)	7.6 (-3.1)	40.0 (7.0)	23.7 (-5.9)
	女性 (2000)	(2060)	10.1 (-0.4)	33.3 (4.7)	32.8 (-1.9)	17.2 (-1.0)	6.7 (-1.5)	43.4 (4.2)	23.8 (-2.4)
学年	大学1年生 (1000)	(1030)	9.2 (0.4)	31.8 (7.7)	35.1 (-4.7)	16.6 (-2.1)	7.3 (-1.2)	41.0 (8.1)	23.9 (-3.4)
	大学2年生 (1000)	(1030)	9.7 (0.9)	27.6 (3.8)	37.9 (2.2)	17.8 (-4.8)	7.0 (-2.0)	37.3 (4.7)	24.8 (-6.9)
	大学3年生 (1000)	(1030)	9.5 (-1.4)	28.3 (5.5)	35.1 (-4.0)	18.9 (1.7)	8.2 (-1.8)	37.8 (4.1)	27.1 (-0.1)
	大学4年生 (1000)	(1030)	14.5 (0.9)	36.1 (4.6)	30.2 (0.6)	13.3 (-2.1)	5.9 (-4.0)	50.6 (5.6)	19.2 (-6.1)
文理別	文系 (2259)	(2190)	12.3 (1.4)	27.9 (3.2)	33.9 (-0.4)	18.2 (-0.8)	7.7 (-3.4)	40.2 (4.6)	25.9 (-4.2)
	理系 (1453)	(1571)	8.7 (-1.0)	35.2 (8.9)	35.0 (-3.6)	14.9 (-2.5)	6.1 (-1.9)	44.0 (8.0)	21.1 (-4.3)
大学 所在地別	関東 (1554)	(1726)	10.7 (1.4)	30.8 (4.8)	35.3 (-1.3)	16.2 (-2.7)	7.1 (-2.0)	41.5 (6.2)	23.2 (-4.8)
	中部 (543)	(488)	10.9 (0.2)	28.2 (5.7)	37.0 (-1.7)	17.9 (-1.4)	6.1 (-2.7)	39.0 (5.8)	23.9 (-4.2)
	近畿 (870)	(878)	10.3 (-1.1)	30.9 (5.6)	34.5 (-0.4)	17.4 (-0.1)	6.9 (-4.0)	41.3 (4.6)	24.3 (-4.2)
	その他地域・計 (1030)	(1018)	10.9 (-0.6)	32.7 (6.4)	32.3 (-2.8)	16.2 (-2.2)	7.9 (-0.8)	43.6 (5.8)	24.1 (-3.0)

+5 全体値+5ポイント以上高い数値に文字白抜き青色網掛け  
-5 全体値-5ポイント以上低い数値に桃色網掛け

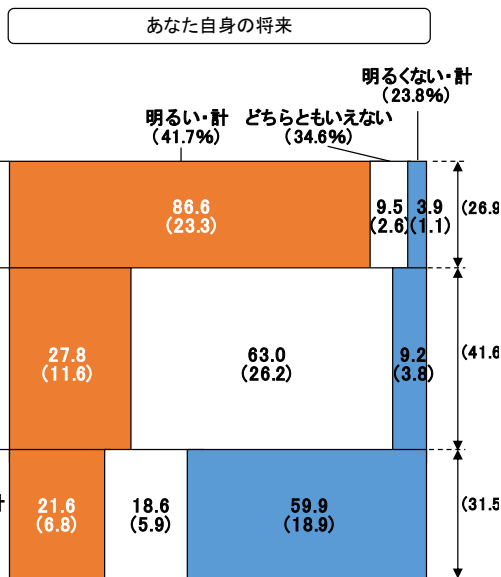
### 3) 社会人になるころの社会の明るさと自分自身の将来の明るさ

- 社会人になるころの社会と、自分自身の将来の明るさとの関係を見ると、社会と自分の両方が「明るい・計」は86.6%である一方、両方「明るくない・計」は59.9%であった。
- 「明るい・計」の理由を見ると、今後の大きなイベント開催にともなう景況感の好調さや、自分自身の努力により明るい方向に向かうのではないかなど、希望的観測を含めたものも見られた。
- 「明るくない・計」の理由を見ると、現状の経済情勢や社会問題となっている現象により、将来も現状に引き続き、明るさを見いだせないようなものも見られた。

#### ■自分自身と社会人になるころの社会の明るさ(全体/各単一回答)

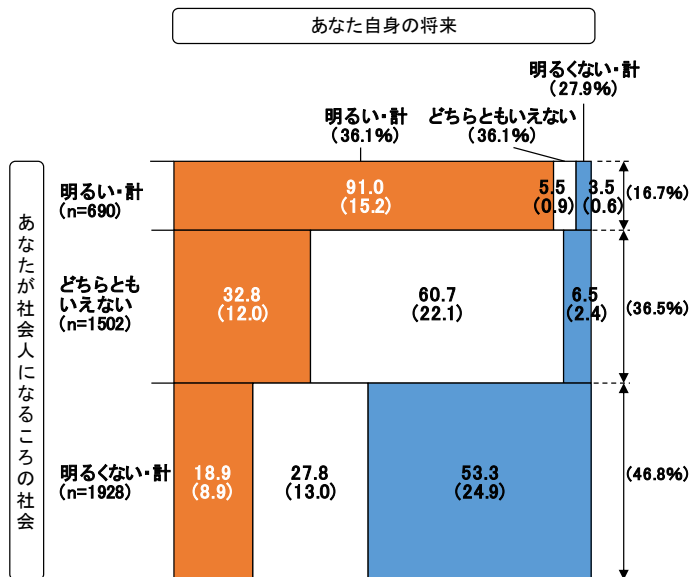
※質問回答の「明るい」「やや明るい」をあわせて「明るい・計」、「明るくない」「あまり明るくない」をあわせて「明るくない・計」とした。

#### <今回(2015年)>



上段:『あなたが社会人になるころの社会』の明るさ別の%  
下段:全体に占める%

#### <前回(2012年)>



上段:『あなたが社会人になるころの社会』の明るさ別の%  
下段:全体に占める%

#### ■自分自身や社会人になるころの社会について、両方ともに「明るい・計」と思う理由(自由回答より抜粋)

- 東京オリンピックの効果もあり景気が良くなっていると思うから。(大学1年生・男性)
- 今は部活に打ち込んでいて、高校のときもうちこめるものがある、きっと将来もそういったものに出会えると思うし、今までの仲間もいるから。社会は、今が一番悪いと思うのでこれからよくなっていくのかなあと考えています。(大学1年生・女性)
- 今はとても充実しているし、将来の目標に向けて努力も続けられているから。社会人になるころの社会が暗いとは考えたくない。(大学2年生・男性)
- 将来は今より景気が良くなっているから。(大学2年生・女性)
- 景気が上向きになっていると報道されているから。(大学3年生・男性)
- 社会はどうなるかわからないが、自分は夢を持っておりそれを叶えるために今頑張っているわけで、将来は明るいとしか考えられない。(大学3年生・女性)
- どんな状況からでも覚悟と努力次第で巻き返してきたから。(大学4年生・男性)
- 環境問題や経済情勢など不安がないわけではないが恐らくどうにかなる気がする。(大学4年生・女性)

#### ■自分自身や社会人になるころの社会について、両方ともに「明るくない・計」と思う理由(自由回答より抜粋)

- 自分の将来は想像できないから。社会は、テロなど社会的国際的な不安が多いから。(大学1年生・男性)
- 明るいニュースもなく、ブラック企業や過労死、ニート、介護や年金の辛い話題が多い。(大学1年生・女性)
- 景気が回復する兆しが見えないから。自分も将来のためにあまり努力していないから。(大学2年生・男性)
- 就職活動の時期がころころ変わり、見通しは立たない。消費税が上がり、消費活動も少なくなり就職できるか不安。就職しても倒産やリストラのリスクは払拭できない。(大学2年生・女性)
- 税率がどんどん上がっているのに、景気が一向に良くならない。年金が自分の代になってちゃんと貰えるか不安。(大学3年生・男性)
- 今の時点で良いと思えることがないのに将来に対して良いイメージを抱けるわけがないから。(大学3年生・女性)
- 就職活動があまり納得のできるものではなかった。この先の日本経済についても、不安要素しかない。(大学4年生・男性)
- 年金の問題や就職難、奨学金の返還など、生活が安定しないうちから多くの問題があるから。(大学4年生・女性)

1) 大学卒業後の進路について考えるときの気持ち

- 大学卒業後の進路について考えるときの気持ちについて、「楽しい」「どちらかという楽しい」の合計（以下「楽しい・計」）は24.2%で、「不安」「どちらかという不安」の合計57.1%と、「不安・計」の方が高い。
- 前回調査の「楽しい・計」23.5%、「不安・計」58.3%と比べると、ほぼ同水準である。

■ 将来の進路を考えるときの気持ち（全体／単一回答）

※質問回答の「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい」をあわせて「楽しい・計」、「不安な気持ち」「どちらかという不安」をあわせて「不安・計」とした。

	●凡例 N	楽しい・計			不安・計		考えたことが ない		楽しい・ 計	不安・ 計
		楽しい気持ち	どちらかとい うと楽しい	どちらとも いえない	どちらかとい うと不安	不安な気持ち				
全体	(4000)	5.5	18.6	17.9	30.5	26.6	0.9	24.2	57.1	
性別	男性 (2000)	6.4	20.4	21.1	28.7	22.2	1.3	26.8	50.9	
	女性 (2000)	4.7	16.9	14.6	32.3	31.1	0.5	21.6	63.4	
学年	大学1年生 (1000)	4.9	17.9	17.7	33.4	24.5	1.6	22.8	57.9	
	大学2年生 (1000)	4.6	14.3	19.5	32.7	27.5	1.4	18.9	60.2	
	大学3年生 (1000)	4.3	17.2	16.1	29.0	33.2	0.2	21.5	62.2	
	大学4年生 (1000)	8.3	25.1	18.1	26.9	21.3	0.3	33.4	48.2	
文理別	文系 (2259)	6.2	17.4	16.5	30.1	29.2	0.8	23.5	59.3	
	理系 (1453)	4.8	21.5	19.8	30.4	22.5	1.0	26.4	52.9	
大学 所在地別	関東 (1554)	6.4	17.8	19.0	28.8	27.5	0.5	24.2	56.3	
	中部 (543)	5.5	19.0	16.8	32.8	25.6	0.4	24.5	58.4	
	近畿 (870)	4.8	19.0	17.2	30.6	27.1	1.3	23.8	57.7	
	その他地域・計 (1030)	4.8	19.4	17.1	31.8	25.4	1.5	24.2	57.3	

+5 全体値+5ポイント以上高い数値に文字白抜き青色網掛け  
-5 全体値-5ポイント以上低い数値に桃色網掛け

■ 前回(2012年)調査結果との比較

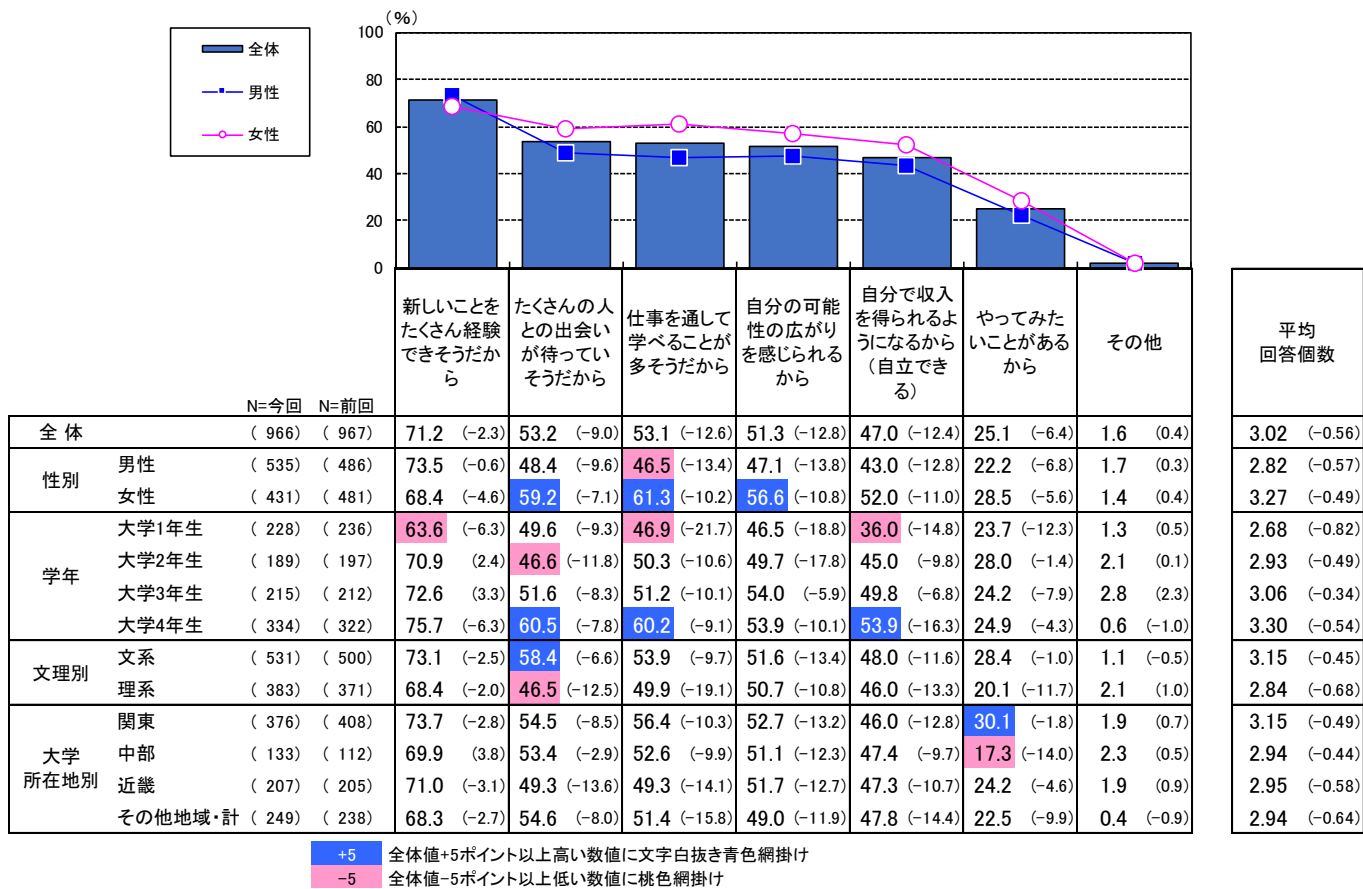
	N=今回	N=前回	楽しい・計			不安・計			考えたことが ない	楽しい・計	不安・計
			楽しい気持ち	どちらかとい うと楽しい	どちらとも いえない	どちらかとい うと不安	不安な気持ち				
全体	(4000)	(4120)	5.5 (0.7)	18.6 (-0.1)	17.9 (0.4)	30.5 (1.2)	26.6 (-2.4)	0.9 (0.2)	24.2 (0.6)	57.1 (-1.2)	
性別	男性 (2000)	(2060)	6.4 (1.3)	20.4 (1.9)	21.1 (0.8)	28.7 (-0.4)	22.2 (-3.9)	1.3 (0.3)	26.8 (3.2)	50.9 (-4.3)	
	女性 (2000)	(2060)	4.7 (0.3)	16.9 (-2.0)	14.6 (-0.2)	32.3 (2.7)	31.1 (-0.9)	0.5 (0.2)	21.6 (-1.8)	63.4 (1.8)	
学年	大学1年生 (1000)	(1030)	4.9 (-0.1)	17.9 (0.0)	17.7 (-0.6)	33.4 (1.3)	24.5 (-1.2)	1.6 (0.7)	22.8 (-0.1)	57.9 (0.0)	
	大学2年生 (1000)	(1030)	4.6 (1.2)	14.3 (-1.4)	19.5 (1.6)	32.7 (2.6)	27.5 (-4.9)	1.4 (0.9)	18.9 (-0.2)	60.2 (-2.3)	
	大学3年生 (1000)	(1030)	4.3 (1.0)	17.2 (-0.1)	16.1 (-0.2)	29.0 (-0.4)	33.2 (0.3)	0.2 (-0.6)	21.5 (0.9)	62.2 (-0.1)	
	大学4年生 (1000)	(1030)	8.3 (1.0)	25.1 (1.1)	18.1 (0.4)	26.9 (1.3)	21.3 (-3.7)	0.3 (-0.2)	33.4 (2.1)	48.2 (-2.4)	
文理別	文系 (2259)	(2190)	6.2 (1.2)	17.4 (-0.4)	16.5 (0.9)	30.1 (2.1)	29.2 (-3.9)	0.8 (0.3)	23.5 (0.7)	59.3 (-1.8)	
	理系 (1453)	(1571)	4.8 (0.4)	21.5 (2.3)	19.8 (-0.8)	30.4 (-0.7)	22.5 (-1.3)	1.0 (0.2)	26.4 (2.8)	52.9 (-2.0)	
大学 所在地別	関東 (1554)	(1726)	6.4 (2.0)	17.8 (-1.4)	19.0 (0.7)	28.8 (1.0)	27.5 (-2.1)	0.5 (-0.2)	24.2 (0.6)	56.3 (-1.1)	
	中部 (543)	(488)	5.5 (0.2)	19.0 (1.4)	16.8 (-1.8)	32.8 (0.4)	25.6 (0.2)	0.4 (-0.2)	24.5 (1.5)	58.4 (0.6)	
	近畿 (870)	(878)	4.8 (-0.1)	19.0 (0.5)	17.2 (0.8)	30.6 (2.1)	27.1 (-4.0)	1.3 (0.6)	23.8 (0.5)	57.7 (-1.9)	
	その他地域・計 (1030)	(1018)	4.8 (0.1)	19.4 (0.7)	17.1 (0.3)	31.8 (0.7)	25.4 (-2.7)	1.5 (0.9)	24.2 (0.8)	57.3 (-1.9)	

+5 全体値+5ポイント以上高い数値に文字白抜き青色網掛け  
-5 全体値-5ポイント以上低い数値に桃色網掛け

2) 大学卒業後の進路について考えるときの気持ち：「楽しい」と思う理由

- 「楽しい・計」と思う理由は、「新しいことをたくさん経験できそうだから」71.2%、「たくさんの人との出会いが待っていそうだから」53.2%、「仕事を通して学べるが多そうだから」53.1%であった。
- 前回調査と比べて差が見られたのは、「たくさんの人との出会いが待っていそうだから」「仕事を通して学べるが多そうだから」「自分の可能性の広がりを感じられるから」「自分で収入を得られるようになるから（自立できる）」で、10ポイント前後低下した。
- 学年別で見た際、学年が上がるにつれて、楽しいと思う理由が増える傾向が見られる。その中で、大学1年生と4年生とを比べて、より差が顕著に見られるのは、「新しいことをたくさん経験できそうだから」「仕事を通して学べるが多そうだから」「自分で収入を得られるようになるから（自立できる）」で、大学1年生よりも12~18ポイントくらい高くなった。

■大学卒業後の進路を考えたとき「楽しい」と思う理由(卒業後の進路を考えたとき「楽しい」「どちらかという楽しい」の選択者/複数回答)※質問回答の「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい」をあわせて「楽しい・計」とした。



3) 大学卒業後の進路について考えるときの気持ち：「不安」と思う理由

- 「不安・計」の理由は、「仕事に就くことができるかどうか（就職できるか）心配だから」72.3%、「社会人になる自信がないから」49.5%、「社会での人間関係が難しそうだから」48.0%であった。
- 前回調査と比べて差が見られたのは、「仕事に就くことができるかどうか（就職できるか）心配だから」「社会・経済情勢が不安定だから」「就職してもいつ解雇されるかわからないから」で、前回よりも8~19ポイント近く低くなった。
- 学年別で大学1年生と4年生とを比べると、「仕事に就くことができるかどうか（就職できるか）心配だから」が4年生は、1年生の約半数くらいとなっており、「社会人になる自信がないから」「社会での人間関係が難しそうだから」ともに、大学1年生よりも4年生の方が高くなった。

■将来の進路を考えると「不安」と思う理由(将来の進路を考えると「不安」「どちらかという不安」の選択者／複数回答)  
 ※質問回答の「不安な気持ち」「どちらかという不安」をあわせて「不安・計」とした。

